

服飾デザイン科

テキスタイル研修

【日時】2月21日(木) 午前8時40分～午後4時30分

【目的】・繊維機械技術の変遷を学ぶ。
・尾州素材の魅力をリサーチする。
・各企業の新素材提案や学生による素材提案コンテスト「翔工房」作品を見学し、今後のテキスタイルデザインの発想力を養う。

【研修先】・トヨタ産業技術記念館 繊維機械館 ・Re-TAIL
・16th JAPAN YARN FAIR&総合展「THE 尾州」・「翔工房」

【対象】服飾デザイン科2年生



トヨタ産業技術記念館 見学



「繊維機械館」では、繊維素材から糸を紡ぐ行程、布を織る技術の変遷を、実演を見ながら学びました。また、最新のウォータージェット織機やコンピュータ制御技術を駆使した織機を見学し、日本の織物技術のすばらしさを知りました。



Re-TAIL リサーチ



尾州織物の魅力を発信するショップでは、特殊な糸を織り込んだ素敵なファンシーツイードや、意匠糸の数々をリサーチしました。



総合展「THE 尾州」・翔工房作品 見学

素敵な布を見つけたのでスカートを作りたいと思います。



様々な加工を施した生地のコングール入賞作品を真剣な眼差しで見学しました。これらを参考に、私たちもコンセプトを設定し、オリジナルのテキスタイルを考案します。

「翔工房」作品の説明を聞きながら、生地デザインの発想法や尾州の匠の技の織物にける思いを知り感動しました。



様々な意匠糸で手織りミサンガを作りました。



先輩の葛飾北斎の絵画から発想した翔工房作品です。ジャカード織で波模様が表現されていました。